

# ATSUMI ROTARY CLUB



ロータリー：  
変化をもたらす

渥美ロータリークラブ 創立／S 44. 4 承認／S 44. 4  
例会 日／毎週水曜日 12:30  
会場 蒲郡信用金庫渥美支店2F  
事務局 局／愛知県田原市福江町堂前50-6  
蒲郡信用金庫渥美支店 内  
TEL・FAX／(0531) 32-1251  
URL／<http://www15.ocn.ne.jp/~atsumirc/>  
会長／宮川隆司 幹事／宮本智弘 会報委員長／下田祐宏

## 第2367回 No.19 (2017~2018) 11月15日(水)

<司 会> 荒木誠一 SAA <齊 唱> R・S「手に手つないで」  
<ゲ ス ト> 田原市立福江中学校 校長 久瀬 正弘 様  
<ビジター> なし



### <会長挨拶> 宮川隆司会長

ラオスプロジェクトについて、彦坂さんが私費で10万円を出して下さり協力して頂きます。

11月13日に会長エレクトの指名委員会が開催され、満場一致で決まりました。

事務所移転の件で渡会さんと間瀬さんに骨を折って頂いて、ショッピングセンターレイの2階を借りることになりました。50周年に向けて会議もできるし、委員会活動も活発にできるのではないのでしょうか。とりあえず1年使ってみて、単年度契約でいきます。

### <幹事報告> 宮本智弘幹事

1. 例会臨時変更及び休会
2. 11月の地区予定
3. ガバナー月信11月号の回覧
4. 次例会のご案内

### <スマイルボックス> 彦坂陽一委員長

#### ○宮川隆司会長

久瀬正弘様ようこそいらっしゃいました。本日スピーチよろしくお祈いします。蒲信新支店長高橋君、これからよろしくお祈いします。

#### ○宮本智弘幹事

福江中学校校長久瀬正弘様、スピーチよろしくお祈いします。私の子供が4人ともお世話になりました。ありがとうございます。

#### ○三浦正好直前会長

久瀬校長先生、先日の夢ワーカーリンクではお世話になりました。又、長男の件でもお世話になりました。

#### ○川口敏郎クラブ奉仕委員長

久瀬先生、スピーチに来ていただき有難うございます。福中の現状を教えてください。

### <出席報告> 彦坂陽一出席委員

会員数 38名  
出席計算に用いた会員数 36名  
本日欠席 11名 出席率 69.44%  
先々回補正 2名 補正出席率 88.57%

### <11月のスケジュール>

11月22日 ゲストスピーチ  
成田記念病院 陽子線センター準備室  
室長 大東信幸様  
29日 クラブアッセンブリー

○青山房生副幹事

チョットいいこと有りました。

○森下三嗣プログラム委員長

久瀬先生、子供たちのお話、よろしくお願  
いします。

○荒木誠一SAA

久瀬校長先生、本日のスピーチ宜しくお願  
いします。蒲信新支店長高橋さん、これから宜  
しくお願いします。

〈委員会報告〉

○宮本智弘幹事

福江小学校2年生の作ったキク鉢展示のお願  
い。

タイへの奨学金が足りないので再度お願い。

〈会員バッジ授与式〉

高橋秀一郎会員



前任の大根支店長が3年7か月と非常に長  
かったので、同じようにはできませんが自分な  
りに精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

〈ゲストスピーチ〉

田原市立福江中学校 校長 久瀬正弘様



生まれは田原駅の近くで、田原市内では福

中と赤中のみに勤務、福中は自分の学校のようなもの。校訓「真実を求め、誠実に行う」は開校以来不変。今の合言葉は「きりり福中」。付けたい力や能力は、確かな学力、自己肯定感、自己指導能力で、力を入れている教育は「ふるさと教育」である。

美しいふるさと渥美を愛する心を育む「福中まちづくりプロジェクト」で都市景観大賞を受賞、2年連続で日本一になった。

特色ある行事として、親子ふれあい活動、校内体育大会、サンキュー☆福江、職場体験、立志歩行などがある。

地域とのかかわりとして、ドリームの会、サンキュー☆福江、ドリーム会議、ラベンダープロジェクト、ふるさと学習「あつみPRプロジェクト」を行っている。

また、県教育委員会からの要請で中高一貫連携校に指定された。目的は、6年間の交流の中で、確かな学力と豊かな人間性を育成し、田原市の発展に貢献できる生徒の育成を目指し、少子化の中、高校を維持するとともに、福江高校観光ビジネスコースとあわせた地域振興とまちづくりを特徴とする。

平成31年4月には伊良湖岬中学校との統合も。これら2つの課題解決の近道が“コミュニティスクール”

2年後に東三河で初めてのコミュニティスクールになる。学校運営協議会を設置し、

☆地域が育てる子ども像を共有する

☆学校の課題について地域・家庭とともに解決の道を探る

☆地域の課題に学校がともに考える

手法は「熟議」、話し合いで。

福江中学校は、地域と共にある学校づくりを通して、生きる力を持ち、たくましくも心優しい、地域に貢献できる生徒の育成を目指します。

